

第2回定例会報告

議決概要

(会期) 6月2日～6月22日

平成22年第2回定例会では、市長提出の議案54号～78号、議員提出の議案1号、委員会提出の議案5号が、質疑と各委員会の審議を経てすべて可決されました。

(議決)市長提出議案の主なもの

63号	市税条例の一部を改正 税法改正によるたばこ税の引き上げなどの条例改正です。本年10月1日からマイルドセブンは410円に、セブンスター系は440円になります。	
65号	市立少年自然の家条例の改正 長野県諏訪郡富士見町にある少年自然の家を、平成23年から指定管理者制度で管理します。	
67号～ 69号	(仮称)福祉保健センター新築に係る入札 入札結果(一般競争入札)	
	落札額(税込)	落札率
	67 建築	885,150,000 87.6%
	68 電気設備	145,929,000 86.8%
	69 機械設備	301,777,875 87.4%
	上戸田5丁目(健康福祉の杜となり)に、2階建、延べ床約3,000平米の保健と福祉の複合施設を新築します。平成23年4月開所予定です。 業務内容は、健康診断、保健総合相談窓口です。	
70号～ 72号	市立学校給食センター新築に係る入札 入札結果(一般競争入札)	
	落札額(税込)	落札率
	70 建築	562,275,000 87.5%
	71 電気設備	195,090,000 86.8%
	72 機械設備	636,327,300 87.8%
	新曽南4丁目(競艇場バス乗り場となり)に、2階建、延べ床約2,500平米の学校給食センターを新築します。 業務内容は、中学校を中心に給食を調理します(6,000食供給可能)	
73号	※すがわらマニフェスト2009掲載政策! 美谷本小学校屋内運動場耐震補強工事 入札結果(一般競争入札)	
	落札額(税込)	落札率
	73 耐震補強	175,350,000 87.0%
	市立美谷本小学校の体育館の耐震補強工事です。この工事を最後に、市内全学校施設の耐震化が完了します。	
74号	新曽中学校教室棟増築 入札結果(一般競争入札)	
	落札額(税込)	落札率
	74 教室増築	289,800,000 87.3%
	市立新曽中学校の教室の増築工事です。2階建、延べ床約930平米の教室を増築します。	
75号 78号	水槽付消防ポンプ車、35m級はしご車購入 入札結果(一般競争入札)	
	落札額(税込)	落札率
	75 ポンプ車	36,225,000 84.7%
	78 はしご車	190,365,000 91.1%
	消防ポンプ車、はしご車を購入します。	
76号	平成22年度一般会計予算の補正 補正前・・・44,406,649,000円+280,789,000円 補正後・・・44,687,438,000円 主な歳出(円)	
	スポーツセンターのプール天井改修	142,145,000
	文化会館の外壁修繕	49,456,000
	市民農園新設	1,631,000
	日本脳炎予防接種再開	97,750,000

(議決)議員提出議案の主なもの

1号	戸田市議会の議決事件に関する条例の一部改正 ※すがわらの政策提言が実現! 以前から私が議会改革特別委員会で要望していた条例です。 総合振興計画とは、今後10年間の行政活動の目標や方向を定める重要な計画です。この計画は、基本構想と基本計画の部分に分けることができ、基本構想は、法の定めにより議会の議決が必要で、基本計画は行政側に任されておりました。 「基本計画も議決要件に」とする今回の条例改正により、議会が具体的な施策体系まで審議を行い、議員を通じて市民の意見が色濃く計画に反映させることができるようになります。平成23年度からの総合振興計画が9月議会に上程される予定ですが、責任と自覚を持って計画の審議に臨み、市民意見の反映に努めてまいりたいと思います。
----	---

一般質問

① 子ども手当について

すがわらの質問・提言	子ども青少年部長の答弁
戸田市にお住まいの外国人の方は現在4362人である。国外に住む外国人の子どもへの支給はあるか?	3月末までの児童手当では、18名(児童数23名)に支給していたが、現在のところ、外国に居住する子どもの申請はない。
児童手当の支給があった方が申請期限の9月末までに申請されると見込まれる。今回の支給要件の説明をしっかりと行うべきでは?	窓口で丁寧に説明するなど、ご理解いただけるように努める。
不正受給を防ぐためにも厳正な事務を。	国の支給要件に従い、近隣市に紹介をかけるなどして対応する
解らないから支給ではなく、解らないなら、徹底して調べて、少しでもおかしい場合は食い止めるという現場の判断が必要だ。	多少時間がかかっても、慎重に事務を行うよう、指示しているところだ。厳正に対処する。
足利市などは、保育料、給食費の滞納者対策として、滞納者のみ現金支給にして、支給時に滞納支払いをお願いする、という対策を行っている。本市の対策は。	現在保育料の滞納は181世帯2883万円。給食費の滞納は379人866万円である。保育料は支給に合わせて、納入を促すポスター掲示、現場での声かけなど徴収対策を強化する。給食費は、県が作成した未納防止マニュアルの活用や、引き落とし口座とこども手当の受け取り口座を同一にするようお願いするなど未納防止に努める。
子ども手当は、滞納を減らすチャンスでもある。これを契機に滞納対策を強化する事を要望する。	これから、いろいろな方法を考えて、滞納対策を進めていきたい。
手当はそのまま寄付もできる。寄付を活かすために、寄付の使い道をメニュー化してはどうか?	県内でも8つの自治体で、基金を創り、政策メニュー化を進めている。今後、研究していきたい。

すがわらの視点 国外にすむ外国人の子どもに対する支給が不正支給の温床の可能性があるという話題となった子ども手当。厚労省は3月末に慌てて「支給要件の確認」ということで5つの要件を通知した。しかし、そもそもこの通知には法的な拘束力はない。よって、最終的には支給は自治体の裁量に任せられる。つまり自治体の通知の運用が甘いと、不正受給を許すことにもつながりかねないということだ。不正受給を阻止するためにも、厳正な事務を行ってほしい。また、保育料、給食費の滞納については、成果を上げている方法を取り入れて、この際、抜本的な対策を講じるべきではないか。

②ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例について

すがわらの質問・提言	市民生活部長の答弁
条例施行から2年間の事業の成果は？	駅を利用する市民に直接呼びかける「1万人へのマナーアップ周知大作戦」を3日間行い、ポスターコンクールの実施など啓発に努め、環境美化に貢献した。
アンケート調査、定点観測など、経年比較するなどの戦略的で確かによく言ったとわかるような取り組みを行えないか？	PDCA サイクルという考え方をもち、取り組んでいきたい。また、アンケートについても検討したい。
副流煙対策、周知の徹底、ルールの厳格化などの検討は？	条例の目的は環境美化であり、副流煙対策は明確な規定がない。ルールの厳格化はポイ捨てが減少しているの、推移を見て検討する。
周知を図るための指導を行うべきではないか？	できるかぎり、ボランティアによる喫煙マナー啓発員という制度づくり配置して指導していきたい。

すがわらの視点 「ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」は戸田市の良好な生活環境を推進する目的で2年前に制定された。この条例は主にポイ捨て、歩行喫煙、飼い犬のフン放置を禁止している。私にも以前より市民の皆様から多くのご意見が寄せられており、その成果を問う声も多い。罰則付与や制限区域の指定などの規制の厳格化がなくとも、マナーアップがはかれることが一番望ましいが、そのためには、戦略性を持った徹底した周知活動が必要だ。



③埼玉県からの権限移譲について

すがわらの質問・提言	総務部長の答弁
埼玉県は権限と財源の移譲を進める方針を策定し、二重行政の解消や、人的支援、財政支援を行っている。市別の権限移譲状況における本市の状況は、県の示す移譲可能な事務のうち16事業について移譲していない。他の自治体がほとんど受け入れているような事務や、国の分権改革推進委員会の示す事務については、早急に移譲して、住民に身近な行政、自立した戸田市を目指すべきでは？	分野によっては受け入れが進んでいないところもあるが、全項目の受け入れを目指して16項目の事務について積極的に取り組んでいく。
いつまでに行うという期限を切って行えないか。	ご指摘の5項目については、来年4月を目標に取り組む。

すがわらの視点 地方分権、最近では地域主権といわれるが、平成12年の地方分権一括法や19年の分権改革推進法の流れで、ますます自治体の判断と責任が問われていく。しかし分権を成功に導くには「与えられる」意識ではなく、権限と財源を県や国から「奪う」という姿勢で取り組まなければ自立した自治体になることはできない。取り組む側の行政には、いかに仕事をやらずに過ごすか考えてばかりいるような公務員はもういない。これからは仕事に自信と責任、情熱とやりがいを持つ公務員の時代だ。積極的に頑張ってもらいたい。

④提案型公共サービス民営化制度について

すがわらの質問・提言	総務部長の答弁
我孫子市は1100ある市のすべての事業を例外なく公表し民間から委託・民営化の提案を募り、提案型公共サービス民営化制度として成果をあげている。佐賀県、杉並区でも同様の民間提案による公共サービスの民営化を行い、多くの公共サービスが民間の手によって提供されている。導入の検討を行っているかどうか？	すべての事業に対して、民間委託ありきという考え方ではなく、効率性を重視すべき事務を中心に、市民サービスを低下させないよう配慮しつつ、民間委託のあり方を検討する必要がある。行政経営を柔軟かつ効率的に行うための委託手法の一つとして、先進事例を調査する。

すがわらの視点 地方分権により市民に身近な市町村を主体にした行政活動が行われていく。行政には、増大する市民ニーズから、より大きな公共が求められるが、財政的、人的な限界から小さな政府を維持しなければならない矛盾がある。この隔たりを埋める仕組みが提案型公共サービス民営化制度だ。行政のアウトソーシングを行政本位の「コストカット」という目的だけに終わらせずに、民間の知恵と工夫により「豊か」で「質の高い」公共サービスを実現するためにこういった制度を前向きに研究して欲しい。

⑤非常勤職員の処遇改善について

すがわらの質問・提言	総務部長の答弁
戸田市には臨時職員、非常勤職員、パートタイマーとして600人～700人の方が働いているが、昇給、昇格もない。仕事の質を向上させ、意識をもって働いていただく目的で、荒川区、千代田区、港区は、独自に多層型の給与制度をつくり、運用している。均等待遇の確保に資する意味からも、役所に働く方々の待遇をもう一歩前進させて考えていけないか？	非常勤職員の処遇改善は必要であると認識している。しかし総務省は職務の責任や困難度が同じ場合や年数に応じた昇給制度は、地方公務員法で継続雇用を前提としない非常勤職員にはなじまないとの認識であり、提案された多層型給与制度にはそのような課題もある、今後処遇改善を図る上で研究したい。

すがわらの視点 都市近郊の自治体では、多くの非正規職員が働いている。特に戸田市はその傾向が顕著で、職員が2倍以上いる荒川区と同程度の職員数になっている。今や自治体の仕事は正規職員だけでは回せるはずもなく、非正規の方々の仕事の質が行政サービスの質に直結するような状況もある。しかし現実として、非正規職員の平均年収は200万円を下回っており、正規職員給与の3分の1から4分の1といわれる。官製ワーキングプア問題である。荒川区の西川区長は総務省を押し切る形で多層型の非正規雇用制度を創設した。一般、主任、総括という括りで仕事に職層を設けて、昇給、昇進を可能にした。非正規職員にも、やりがいをもって働くための処遇改善を検討すべきだ。

⑥埼京線3駅のホームドア(柵)導入について

すがわらの質問・提言	市民生活部長の答弁
山手線で導入が進むホームドア(柵)を埼京線プラトホームに設置するようJRに要望してはどうか？	早期に導入できるように要望をして参りたい。

すがわらの視点 ホームドア(柵)は、旅客の転落防止や列車との接触防止する極めて有効な施設だ。国交省によると、H14年にホームからの自殺者は170人、それ以外の事故は111件(30人が死亡)だ。市内3駅では、列車との接触事故は、H19年5件(ホーム2件、路線上3件)、H20年1件(ホーム1件)H21年3件(ホーム2件、路線上1件)ということである。多くの市民が利用する埼京線3駅でいち早くホームドアを実現してほしい。

常任委員会報告

市内施設の安全管理体制構築を！

すがわらが所属する市民生活委員会では、補正予算のなかでも大きな金額の文化会館外壁の緊急修繕(4950万)、スポーツセンター屋内プールの天井の緊急改修(1億4200万円)について審議しました。

すがわら文仁は、予算額が大きいことから、工事金額の見積りの妥当性について質疑しました。また、市の施設全体の計画的な安全管理体制を構築することも考えていく必要があることを指摘しました。いずれの修繕も、破片の落下があったそうですが、事故が起こってからでは手遅れになります。老朽化した施設の多い戸田市ですので万全の安全管理を行う必要があります。

転落防止柵の設置が実現！

戸田市は、6月30日に待望の戸田公園駅前行政センターを開所しました。同時に、議会の提案により、行政センターに続くペDESTリアンデッキ(連絡通路)が設置されました。このデッキにより、駅西口から降りずにセンターに行けるようになりました。しかし、このデッキの設計によると、通路との間が1メートルほど開いており、設置されている手すりも中学生くらいなら乗り越えられるような高さでした。

そこで、すがわら文仁は、3月の委員会審議のなかで、デッキと通路の間から、落下の危険性がある事を指摘して、担当課に転落防止柵を設置するよう、要望しました。

この度、行政センター開所に合わせて、見通しのよい転落防止柵が約10メートルにわたり設置されました。



設置された転落防止柵



開所式の様子

ニュース&トピックス

荒川水循環センター上部公園オープン

荒川水循環センター上部の約5.6haを有効利用する上部公園。この度、約半分の約2.5haがオープンしました。



プレオープン式で、県のマスコット「コバトン」と一緒に特別養護老人ホーム整備方針決まる

現在、戸田市には2つの特別養護老人ホームがありますが、入所待機者が950名を超えており、以前から新たな施設を求める声が多くあがっていました。市長のマニフェストにも示されていた特養施設の整備ですが、この度開設のスケジュールが発表されました。市担当によると、今後10年以内に新たに2棟を建設する予定であり、1棟目は、平成25年度中の開所を目指して現在の給食センターの移転後跡地に建設するとしています。2棟目は、白寿荘の再整備としてを建設を行い、平成29年度の着工予定ということです。両施設とも100床を超える規模の計画です。

編集後記

上田知事の政治塾が開校した。私は運営委員として、塾のお手伝いをします。運営委員は30代を中心に50歳以下の若手政治家ですが、中でも私が一番年少者です。懇親会のなかで、上田知事が「政治家は、若い時はチャレンジできるのだから、なんでもチャレンジしていったほうがいい」と話されていたのは大変印象的でした。ところで、私が何かチャレンジするときは、いつも尊敬する稲盛和夫さんの言葉を思い返します。「動機善なりや、私心なかりしか」です。チャレンジする動機が自他ともに受け入れられて、そのところに私心がないかを自問してみよ、ということです。これは政治も同じではないかと思います。政治家は保身に走ったらさうござい。名誉職ではない、職業としての政治家として、勇気をもってチャレンジを続けていきたいと思っています。

すがわら文仁 プロフィール

昭和50年7月30日 生まれ 34歳

市立美谷本小学校、美笹中学校、伊奈学園総合高校 卒業

日本体育大学卒業、明治大学大学院修了 公共政策学修士

【資格】 中学、高校の教員免許(保健体育) 【座右の銘】 為せば成る 【夢】 努力した者が報われる社会の実現

【選挙】 2005年 市議会議員選挙 1,993票(2位) 2009年 市議会議員選挙 4,143票(歴代1位)

【所属】 政党は無所属で一人会派 市民生活委員会委員、議会改革特別委員会委員

【目標】 子どもにツケをまわさない持続可能社会の追求し、行政品質の向上と社会的な包摂を実現すべく、日夜政策提言中

【成果】 公共施設等整備基金設立を実現して施設財源を安定化、職員・議員互助会への公費支出削減と廃止を実現、子どもの読書活動推進計画の策定を実現して読書教育を推進、病児・病後児保育施設を実現、青色防犯灯設置を実現して自転車盗を抑止、財政年次報告書策定を実現して行財政を透明化、父子家庭の父にも職業訓練給付事業の拡大を実現、ネットいじめ根絶に関する決議を実現、入札に関する討論で入札事務を改善、予算編成方針に競艇収益の用途を明記、スポーツ振興基本計画の策定を提言して実現・・・等々

【活動】 埼玉大学・明治大学大学院ゲスト講師、上田政治塾運営委員、埼玉坂本龍馬会幹事、戸田市体操協会会長、日本地方自治学会会員、日本自治体危機管理学会会員

【カンパ】 すがわら文仁は地盤、看板、カバンなしの政治活動をしています。企業献金は受け取りません。まじめな政治カンパを募集中です。巢鴨信用金庫 西浦和支店 普通口座 3113812 スガワラフミヒトコウエンカイ スガワラタカコ

※お振込をいただきました方は、ご一報くださいますようお願いいたします。 sawayaka@sugawarafumihito.com